

まるごとミツバチ

～知っていそうで知らないミツバチのお話～

科学読物研究会&サイエンスぽけっと 森 富子

●どんな実験（工作、観察、体験）ができるの？

- ① 人の生活に深くかかわってきたミツバチのお話、クイズをしながら学びます。巣が丈夫な理由を模型を使って調べます（図1）。
- ② ミツロウはミツバチが作る蠟（ワックス）です。ミツロウキャンドルを作り持ち帰りましょう（図2）。
- ③ ミツバチについて、子どもから大人向けの本の展示をします。

●準備しよう

ミツロウシート、ろうそくの芯、アルミカップ

●やってみよう

- ① ミツバチクイズに挑戦して、ハチの巣が丈夫な理由を模型で体験しましょう（図1）。
- ② 芯にミツロウシートを巻きつけて、キャンドルに仕立てましょう（図2）。
- ③ 図書館などで、ミツバチに関する本を探して、さらに詳しく調べてみましょう。

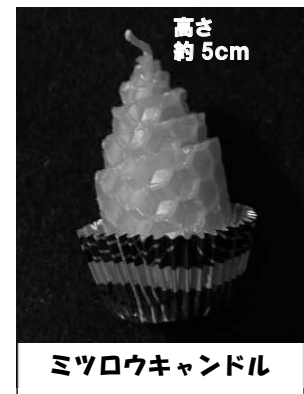


強くて便利な巣はどれ？

図 1

《どうしてこうなるのかな？》

ミツバチは女王蜂を中心に大家族で暮らす昆虫です。古くから飼育（養蜂）され、はちみつやミツロウなどたくさんの恵みをもたらしてきました。六角形のハチの巣はハニカム構造と呼ばれ、平面充填や強度の面から最も優れています。巣の材料、ミツロウはハチが腺から分泌する動物性の蠟です。融点が低く、室温では固体、加熱すると融解し液体に、さらに過熱すると気体になり、気化した蠟は燃焼するので「ろうそく」として利用されます。飾りにもなり、災害時でも役立ちます。



高さ 約 5cm
ミツロウキャンドル

図 2

●気をつけよう

キャンドルの点火は家に帰ってから、大人の人と行いましょう。

●くわしくしらべてみよう

- ・粟林慧 写真、七尾純 文「ミツバチのふしぎ」あかね書房、2005年
- ・藤丸篤夫 写真、岡島秀治 監修「ミツバチー花にあつまる昆虫ー」あかね書房、2010年
- ・竹内一男 著、小林勇 絵、岡田一次 監修「かがくのとも みつばち」福音館書、2010年
- ・ふじわらゆみこ 文、いせひでこ 絵「はちみつ」福音館書店、2016年
- ・山田養蜂場「みつばち広場」<http://honey.3838.com>